

## 第60回日本神経学会学術大会 終了の御礼

謹啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

此の度は、大阪で開催しました第60回日本神経学会学術大会にご参加いただき、誠に有難うございました。幸い連日好天にも恵まれ、お蔭さまで約7,900名の多くの皆様にご参加いただきまして、無事終了することができました。これもひとえに皆様のご協力とご支援の賜物と、心より御礼申し上げます。

今年、第60回という節目の大会であり、元号が平成から令和に改まった直後の開催となりました。また、大阪では44年ぶりの開催ということもあり、様々な意味で記念すべき大会となりました。本学術大会を担当させていただきましたことは大変光栄なことであり、皆様に御礼を申し上げます。本学術大会運営にあたっては、学会事務局と運営事務の双方の御協力のもとで、作業を進めることができました。またプログラム編成にあたっては、学術委員や教育プログラムワーキンググループおよび関連の皆様にも、多大な御支援を頂きました。ここに改めて感謝申し上げます。

今大会のテーマは「水の都から臨床神経学の大海原をめざして」としました。脳神経内科疾患を対象とする学問である臨床神経学は、脳血管障害、認知症、てんかん、頭痛などのCommon diseasesから、指定難病となっている稀少疾患まで多彩な疾患を対象としています。そして、これらの疾患の病態が解明されるにつれて、新規治療法の開発もすすみ、まさに大航海時代を迎えているといっても過言ではありません。水の都として有名な大阪に集い、神経疾患の大海原に向かってフロンティア精神をもって船出していくというイメージを表現したものです。本学術大会では、多くの素晴らしい成果の発表があり、まさに大会のテーマを具現するものという印象を受けました。

ここに第60回学術大会の全日程が無事終了しましたことを報告させていただきます。大会を大いに盛り上げていただきました皆様に重ねて心より御礼を申し上げます。この大会が神経疾患の研究と医療の一層の発展に繋がることを祈念し、お礼の挨拶とさせていただきます。

皆様の益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

謹白

2019年5月30日

第60回日本神経学会学術大会  
大会長 楠 進  
近畿大学医学部脳神経内科 主任教授

【大会長校事務局】近畿大学医学部脳神経内科  
【学会事務局】日本神経学会事務局  
【運営事務局】第60回日本神経学会学術大会運営事務局  
(株式会社コンベンションリンケージ)

